



青野 光 議員

本市の保健行政

問

- ① 受診項目は何種類か。
- ② 項目別受診率の推移は。
- ③ 年代・男女別の受診率と死亡率は。
- ④ 県下での受診率の順位は。
- ⑤ 最近の県下と本市の死亡率の高い病名は。

答

中村市長

- ⑤ 県・本市ともに、1位が悪性新生物（がん）、2位が心疾患、3位が肺炎である。

答

市民福祉部長

- ① 健康診査は、妊婦健診等5種類、各種検診は肺がん検診等11種類である。

③		②							
		%							
年 齢		30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代
男性	死亡率	0.8	0.4	10.1	14	26.6	29.8	17	1.3
	受診率	-	8.5	11.6	21.9	22.9(75歳まで)			
女性	死亡率	0.8	0.8	4.5	8.6	16.7	41.5	24.8	2.3
	受診率	-	11.1	17.1	27.9	22.9(75歳まで)			

平成21年度愛媛県保健衛生統計年報による

②③は、左表のとおり。

④平成23年度の本市の受診率は22・5%で、県下では16番目である。最高は松野町で52・7%、最低は松山市で15・3%である。

給食センターの進捗状況と今後の取り組みは。

問

事業発表以来、場所選定等で二転三転し、2年が経過した。その遅れにより補修や器具劣化等で2000万円を支出した。リーダーの行政手腕の欠如と思うが。

答

中村市長

給食センターの土地選定で、再三変更した経緯は、ご承知のとおりである。

その過程の中で、現有の施設は老朽化しており、やむを得ない最小限の修理をしながら対応したが、結果として、2000万円の費用となり申し訳な

く思っている。

現在は、南山崎小学校の南側に、協議委員会が進めているので、ぜひ、今後ともご協力をお願いしたい。

市内小・中学校のグラウンドの水はけ状況

問

①特に水はけの悪い郡中小・港南中グラウンドの今後の計画は。

②地下水路管の図面はあるのか。また調査・検討を予定しているのか。

答

教育委員会事務局長

①郡中小グラウンドは、表面水が北側にある会所マスに流れ込み、そのまま敷地外の用水路へ流れて土砂も流出している状況である。

現在、会所マスを大きくし、泥だまりを設置する計画を進めている。港南中グラウンドは、用水路へ放流する手前に、

いずれの箇所にも泥だまりつきの会所マスを設置しているが、確認すると清掃ができておらず用水路へ土砂が流出している状況であった。

②地下水路管の図面は、当初の造成工事まで遡ることに、把握できていない状況である。排水施設を設置するには大規模な掘削が必要で、経費の問題もあるため、これまでは表面水の処理改修工事を行ってきた。今後は各学校と協議し、必要であれば排水施設の整備も検討したい。

その他の質問事項

- ・本市のごみ収集について
- ・市内公共物等の樹木の管理・手入れ等